きずな

No. 5

平成６年４月１日創刊　静岡県溶接工業協同組合　平成７年７月31日発刊

翔け、溶接関連産業、21世紀に向かって

特集「検定試験受験のために」No.1

高効率職場の構築へ向けて

静岡県溶接工業協同組合
理事長　梶　本　忠　恒

業界を取り巻く環境は、非常に厳しいものがあります。よく言われている以前の３Ｋは、「きつい」「きけん」「きたない」、でありましたが、現在は、「価格破壊」「空洞化」「雇用調整」へと変貌してきました。いずれにしても我々の業界は、この３Ｋから離れられない業界と言えます。

この３Ｋの環境の中に、どっぷりと、つかってこの中で、もがき、どの様にして脱皮するかが、我々業界の今後の課題ではなかろうかと思います。

今後このような厳しい経済環境に対応できる経営体質の改革をやらないかぎり、我々の業界は、21世紀を迎えることはできないのであります。そこで、私は、どの様にして、今の環境のなかで、対応していかなければならないか。

まず**第１に、信頼性の向上を徹底的に図っていくべきではないだろうか。**実際問題として溶接してあるだけの業務では、今後は生きていけません。その為にも、高度の信頼性を確立して行くことが大事であります。

第２は、溶接技術の差別化戦略を考えていかねばなりません。特殊技術、技能をもつことにより差別化されるのであります。**第３は、提案型の企業であります。**顧客に対し、このようにすれば、今より安くできる。或は、信頼性の高い溶接が出来る。と言った、提案型企業体質を構築することが大切であります。

そこで、我々のような経営資源の少ない個々の中小企業は、このような問題を個々では、解決できにくいのであります。生産性の徹底的な向上作戦による、高生産性現場の構築を図っていくことが、集団のもつ役割であり、また、集団であればこそ、問題を解決する機能が存在するのであります。

今、私は、鉄工連を中心として、皆様方にお役にたつべく、指導員制度を設立し、生産性向上30パーセント以上を目標に、皆様方の職場指導を実施していきたく検討をしているところであります。

手をこまねいていれば、我々中小企業は、追いついていけない現状に立たされているのであります。

或は、技術の問題にしても、教育制度を徹底的に実施し、この協同組合が取り上げて技術向上の為の教育をやっていくことにより、当組合のしめるポデションが重要になってきます。物造りの協同組合としては、県内最大の当組合は、協同化戦略の重要な立場にあり、私は800社まで、伸ばして行きたいと思っています。

そして、最大の集団として、その機能を十分に活かし、皆様方の期待に添える協同組合を目指して行きたいと思っています。さもなくば、存在意義も失われてしまいます。

当組合が、益々発展していくためにも、皆様方の尚、一層のご理解ご協力をお願いし御挨拶と致します。

（開会　増田副理事長の挨拶）

更なる躍進を期し!!
第２期通常総代会終る

平成７年５月27日（土）静岡駅南、東海軒会館に於て、静岡県溶接工業協同組合、第２期通常総代会が、総代をはじめ、多数の来賓ご列席のもとで開催された。予定時刻15時、増田副理事長による、開会の挨拶ではじまり、梶本理事長の挨拶に続き、議長選出。

梶本議長の「中小企業協同組合法及び、当組合定款第41条の規定により、本総代会が成立している」ことが報告され、各議案の上程並びに審議に入った。

上程８議案並びに附帯決議は、全て、原案通り可決承認され、本総代会は滞りなく終了した。

引き続き、去る４月９日（日）日本鋼管（株）清水製作所の研修所において実施された平成７年度静岡県溶接技術競技大会の表彰式が行われ、最優秀賞・静岡県知事賞をはじめとしたそれぞれの入賞者に、表彰状並びにカップが授与された。

その後、当組合の阿部常盤、溶接技術競技大会審査委員長による、本大会の講評並びに、第41回全国溶接技術競技大会への静岡県代表選手が発表された。

来賓の皆様方の紹介と、来賓を代表して、鉄工連顧問団々長の山下義彦県会議員。（社）日本溶接協会中部地区溶接技術検定委員会、吉田亨委員長の両氏より祝辞を頂き、第２期通常総代会並びに、表彰式を滞りなく終了した。

栄えある入賞者

平成７年度静岡県溶接技術競技大会

◆アーク溶接の部

最優秀賞静岡県知事賞	森　　祐　次	㈱日立製作所空調システム事業部
優秀賞検定委員長賞	杉　山　辰　三	日本鋼管㈱清水製作所
優良賞理事長賞	戸　田　義　弘	東海旅客鉄道㈱浜松工場

◆CO_2半自動溶接の部

最優秀賞静岡県知事賞	西　堀　英　貴	㈱渡邊鐵工所
優秀賞検定委員長賞	佐　藤　寿　一	日本鋼管㈱清水製作所
同	村　越　美智明	㈱渡邊鐵工所
優良賞理事長賞	田　中　光　則	㈱日立製作所空調システム事業部
同	中　田　達　雄	㈱與山工業所

佐藤寿一 氏　昨年に続き全国大会へ

第41回全国溶接技術競技大会、３氏出場

アーク溶接の部

森　　祐次さん

CO_2半自動溶接の部

西堀英貴さん

佐藤寿一さん

来る10月21日（土）から22日（日）にかけて、岐阜県各務原市（産業文化センター及び川崎重工業（株）岐阜工場）で行われる、（社）日本溶接協会主催の第41回全国溶接技術競技大会へ、静岡県支部からアーク溶接の部に森祐次さん、CO_2半自動溶接の部に西堀英貴さんと佐藤寿一さんを、静岡県代表として派遣出場することに決定した。

３氏は、４月９日に実施された。平成７年度静岡県溶接技術競技大会に於て、優秀な成績を収め、今回の出場権を獲得したものであり、今後の訓練と一層の精進に励み、全国大会でのご健斗を期待するものである。

平常心でのぞむ、それが勝利への道

平成７年度静岡県溶接技術競技大会開く

静岡県溶接工業協同組合及び（社）日本溶接協会静岡県支部主催、並びに静岡県及び中部地区溶接技術検定委員会後援による、平成７年度静岡県溶接技術競技大会が、去る４月９日（日）日本鋼管（株）清水製作所に於て、アーク溶接の部10名、CO_2半自動溶接の部19名、合計29名の参加を得て実施された。

溶接技術競技大会における、静岡県のレベルは高く、過去においても全国大会優勝、または上位入賞の栄誉を得ている。昨年度第40回大会では、CO_2半自動溶接の部で、東海旅客鉄道（株）浜松工場の中島正和さんが、優秀賞を受賞している。

27年間へ幕

浜松溶接協会解散

去る、６月３日(土)グランドホテル浜松「聴涛館」に於て、浜松溶接協会は発展的解消をもって解散式が行われた。

当日は、約80名の会員諸氏をはじめ、静岡県溶接協会、梶本忠恒理事長、県立浜松技能開発専門校、池沼隆夫校長ほか多数の来賓を迎え盛会裡のうちにとり行われた。

浜松溶接協会は、昭和44年に発足して以来、浜松地区のＪＩＳ溶接技術検定試験事業を主体に、地域産業の発展の為に、その一翼を担い、今日まで27年間業界への貢献には大なるものがあり、その足跡には称賛するところであります。

高須会長の持論とも言える「これからは集団の力」、溶接工業協同組合の一層の発展を期待し、集団の力として、浜松地区の会員皆様にお役にたつように、役員一同更なる精進を致す所存であります。尚、本年４月１日をもって、ＪＩＳ溶接技術検定試験業務は、静岡県溶接工業協同組合へ業務一切が、移行されました。

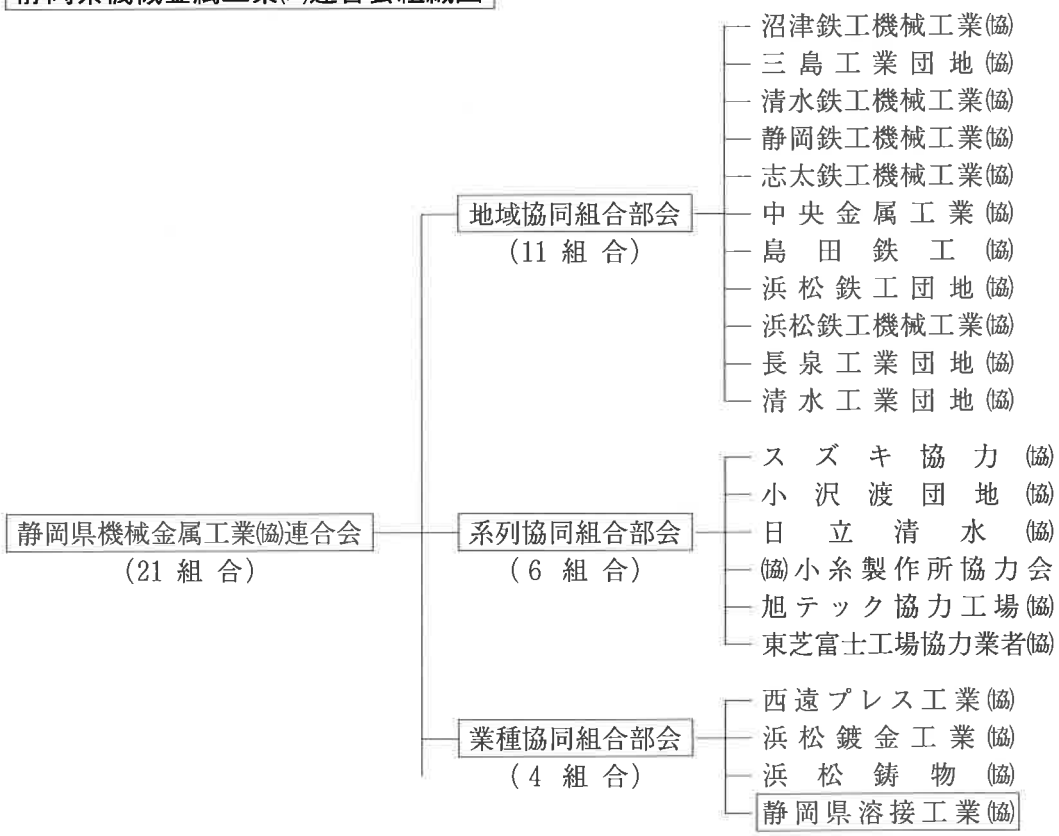
静岡県機械金属工業協同組合連合会へ加入

「昭和52年３月23日設立」

連合会会長、梶本忠恒氏（当組合理事長）

業種協同組合部会長に増田副理事長が就任

静岡県機械金属工業㈱連合会組織図



静岡県機械金属工業㈱連合会役員

	氏　名	所　属
会　長	梶本忠恒	清水鉄工機械工業㈱
副会長	小澤道春	沼津鉄工機械工業㈱
副会長	鈴木通友	浜松鉄工機械工業㈱
部会長	佐野光治	長泉工業団地㈱
部会長	増田義雄	静岡県溶接工業㈱
部会長	瀧　勘司	㈱小糸製作所協力会
理　事	石田　稔	志太鉄工機械工業㈱
理　事	鈴木清助	中央金属工業㈱
理　事	鎌江敏郎	浜松鉄工団地㈱
理　事	太田　滋	旭テック協力工場㈱
理　事	鈴木安市	浜松鍍金工業㈱
理　事	川手　衛	西遠プレス工業㈱

特集 検定試験受験のために No. 1

静岡県のＪＩＳ溶接技術検定試験の受験者は、平成６年度でみますと約3,500名となっており、合格率は、実技試験で73パーセント、学科試験では77パーセントになっております。 業務上、溶接伎倆資格取得の必要性から、それぞれの皆さんが、技能向上にむけ努力しているものと思われますが、その集積として、検定試験を受験、合格することによって「溶接技術証明書」が、（社）日本溶接協会・中部地区溶接技術検定委員会より発行されます。

今回、特集シリーズとして「検定試験受験のために」を記載致しますので、是非ご一読をお願いします。

Q　溶接技能者の資格が要求されるのはなぜですか。

A　最近の鋼構造物、たとえば建築鉄骨、橋梁、船舶、石油精製プラント、化学プラント、タンク、圧力容器、電力、ガスなどの製造・供給設備、輸送機器、各種機械、製鉄設備機器などは、大型化、多様化が進んでおり、これらを製作するために欠かすことのできない接合技術の、基本となる溶接技術に対する信頼性と高品質が強く要求され、かつ期待されるところとなっております。

このような要求を受けて関係官公庁をはじめ、注文者または管理者は、構造物の製作に関する仕様書などで、溶接技能者が所持する資格を規定しており、さらには各業界団体においても、当該構造物の製作標準仕様書などに、同様に溶接技能者の資格を規定しています。

Q　アーク溶接技術資格及び半自動溶接技術資格の内容を詳しく教えてください。

A　２つの資格をまとめると表１のとおりです。なお基本級とそれに対応する専門級の区分があるので注意して下さい。これらの詳細は産報出版（株）から出版されている「ＪＩＳ手アーク溶接受験の手引」または、「ＪＩＳ半自動溶接受験の手引」を参照して下さい。

表１

基本級	対応する専門級	裏当て金の有無
薄板の下向溶接	薄板の立向、横向および上向溶接ならびに薄肉管の溶接	なし
中板の下向溶接	中板の立向、横向および上向溶接ならびに中肉管の溶接	〃
厚板の下向溶接	厚板の立向、横向および上向溶接ならびに厚肉管の溶接	〃
中板の下向溶接	中板の立向、横向および上向溶接ならびに中肉管の溶接	あり
厚板の下向溶接	厚板の立向、横向および上向溶接ならびに厚肉管の溶接	〃

基本級に対応する専門級の関係

受験するときは最初に基本級を受験、合格した後に、その基本級に対応する専門級を受験することになりますが、もし、自信がある場合は基本級と専門級を同時に受験することは出来ますが、基本級が合格しなかった場合は、仮に専門級が合格基準に達していても無効となってしまいますので注意して下さい。

（検定試験・受付）

資格の記号について

各資格は記号で表示されますが、それぞれ次のようになっています。

溶接技術検定試験申込書記載時の参考に活用して下さい。

半自動溶接技術資格の場合

S A 2 F

- F：下向、V：立向、H：横向、O：上向、P：管 ← 溶接姿勢の区分
- 1：薄板・薄肉管、2：中板・中肉管、3：厚板、厚肉管 ← 板厚または管の大きさ区分
- A：裏当て金を使用する、N：裏当て金を使用しない ← 裏当て金の有無の区分
- S：半自動溶接を示す記号

アーク溶接技術資格の場合

A 2 F

- F：下向、V：立向、H：横向、O：上向、P：管 ← 溶接姿勢の区分
- 1：薄板・薄肉管、2：中板・中肉管、3：厚板、厚肉管 ← 板厚または管の大きさ区分
- A：裏当て金を使用する、N：裏当て金を使用しない ← 裏当て金の有無の区分

「溶接技術」1995年5月号より抜すい

ＦＡＸ番号が変わりました。

変更前　０５４－２７８－３０６６

変更後　０５４－２７８－１２９３

静岡県溶接工業協同組合

TEL ０５４－２７８－１６３５

平成７年度溶接技術検定試験日

該当地区の溶接協会へ申込み下さい。

月　日	曜日	地　区	試　験　会　場	受験申込書組合締切り	浜松地区受験申込み	
					受付開始	受付締切り
5/14	日	富　士	沼津技術専門校	4/10 (月)		
5/20	土	清　水	日本鋼管清水製作所	4/14 (金)		
5/21	日	中伊豆	沼津技術専門校	4/14 (金)		
6/ 4	日	沼　津	〃	4/28 (金)		
6/10	土	静　岡	ポリテクセンター静岡	5/ 8 (月)		
6/17	土	志太･榛原	〃	5/12 (金)		
6/18	日	浜　松	浜松技能開発専門校		4/10	4/17
6/25	日	〃	〃		4/24	4/28
7/ 2	日	富　士	沼津技術専門校	5/29 (月)		
7/ 8	土	清　水	日本鋼管清水製作所	6/ 2 (金)		
7/ 9	日	〃	〃	〃		
7/23	日	浜　松	浜松技能開発専門校		5/22	5/29
8/ 5	土	静　岡	ポリテクセンター静岡	6/30 (金)		
9/ 3	日	浜　松	浜松技能開発専門校		6/19	6/26
9/24	日	富　士	沼津技術専門校	8/21 (月)		
9/30	土	静　岡	ポリテクセンター静岡	8/25 (金)		
10/ 1	日	中伊豆	沼津技術専門校	8/28 (月)		
10/ 7	土	沼　津	〃	9/ 4 (月)		
10/ 8	日	〃	〃	9/ 4 (月)		
10/21	土	志太･榛原	ポリテクセンター静岡	9/18 (月)		
10/22	日	浜　松	浜松技能開発専門校		8/21	8/28
11/12	日	志太･榛原	大川原製作所	10/ 6 (金)		
11/19	日	浜　松	浜松技能開発専門校		9/18	9/25
12/ 2	土	静　岡	ポリテクセンター静岡	10/30 (月)		
12/ 9	土	清　水	日本鋼管清水製作所	10/ 6 (月)		
12/17	日	浜　松	浜松技能開発専門校		10/23	10/30
2/ 3	土	志太･榛原	ポリテクセンター静岡	12/ 8 (金)		
2/10	土	静　岡	〃	12/18 (月)		
2/18	日	浜　松	浜松技能開発専門校		12/11	12/18
2/18	日	富　士	沼津技術専門校	1/12 (金)		
3/ 2	土	沼　津	〃	1/31 (水)		
3/ 3	日	〃	〃	〃		

検定試験受付及び問合せ先
進んで受けよう溶接技術検定

名　称	〒	住　所	TEL	FAX
静岡県溶接工業㈱	421-12	静岡市牧ヶ谷2078 静岡県静岡工業技術センター内	054-278-1635	054-278-1293
中伊豆溶接協会	410-24	田方郡修善寺町838－1 修善寺町商工会内	0558-72-0457	0558-72-5482
沼津溶接協会	410	沼津市小諏訪908－1	0559-21-3953	0559-21-3952
富士溶接協会	416	富士市蓼原44－1 富士アセチレン工業㈱内	0545-62-4148	0545-62-4285
清水溶接協会	424	清水市入江岡町15－26	0543-53-6341	0543-52-2741
静岡溶接協会	420	静岡市相生町８－４ 静岡鉄工会館内	054-246-3021	
志太榛原溶接協会	425	焼津市道原740	054-623-3028	

トラック更新

マツダ君、６年間ご苦労さま
いすずさん、後をよろしく

溶接技術検定業務の足となり、今日は西、あすは東へと６年間、吉田さんを助けて10万キロを走り抜き、この度、現役退任となったトラック、‼マツダ君に替わり、いすず「NEWエルフ」２トン、130psが、６月１日に納車された‼。

従来車との特徴は、車両寸法は変わらず、最大積載量750キロアップ、ダブルタイヤ、荷台が低く、特に検定試験材など積み降ろしに適している。

（いすず　NEW　エルフ）

これからの無事走行、業務遂行を祈念し、去る６月７日、ドライバーの吉田さんともども、静岡浅間神社に於て、安全祈願を行った。

検定委員会より

試験中の安全と注意事項

1．溶接技術検定試験中の安全を確保するために

「安全は全てに優先する」「安全は私自身が主人公」。聞きなれた言葉です。

検定試験も実務の溶接作業と同じように、安全作業を第1義に心掛け、次のような事項を守って下さい。

1 通路には、みだりに工具や物を置かないようにする。

2 試験材を保持用のジグに取り付けるとき、あるいは高さなどの位置を決めるときは、取付用のネジなどを十分に締め付け、試験材やジグが落下しないようにする。

3 試験材などを運搬するときは、専用の火箸などを用いるようにする。

4 試験に必要な工具以外は、持ち込まないようにして下さい。

5 試験用の設備などに不安全と思われる状態を発見したときは、直ちに係員に申し出て下さい。

6 試験中に気分が悪くなったりしたときは、直ちに係員に申し出て下さい。

7 万一、事故や災害が発生した場合は、直ちに係員に通報して下さい。

2．溶接技術検定試験中の注意事項

試験中の秩序を守り、安全作業をより効果的に推進するために、次の各事項を守るよう皆さんの協力をお願いします。

1 試験時間には、遅れないように。また、受験票、持参品なども事前に点検して、忘れ物がないようにして下さい。

2 試験中は、立合委員または係員から指示された事項等を守って下さい。

3 試験中の皆さんが、不安全な行為や作業をしているときは、立合委員または係員が注意することがあります。直ちに改善をしてから作業等をして下さい。

4 試験中の受験者にみだりに話しかけたり、近づいたりしないようにして下さい。

5 試験中は、原則として禁煙です。喫煙は、指定された場所で行って下さい。

6 試験に使用する溶接装置または溶接機、溶接棒ホルダー、溶接トーチ、キャップタイヤケーブル、ガスホース、溶接作業台および試験材保持用ジグなどは、ていねいに取り扱って下さい。

特に、溶接作業台や試験材保持用ジグなどには、アークを出さないようにして下さい。

7 試験中は、他の受験者の迷惑や邪魔にならないようお互いに注意して下さい。

平成8年度溶接技術検定業務
静岡県完全一元化

業務検討分科会設置

平成７年３月17日に開催された第３回理事会において、「業務検討分科会」の設置が決定された。

本分科会設置の意義は、すでに決定されている平成８年４月より、現在各地区協会で取り扱っている溶接技術検定試験業務一切を、静岡県溶接工業協同組合へ移行し、県内窓口の一元化を図る為の諸問題を検討し、その結論をもって、当組合「検定業務委員会」へ諮問するものである。

分科会委員は、すでに当組合理事長より委嘱された沼津溶接協会事務局の太田さん、清水溶接協会事務局の滝口さん、志太榛原溶接協会事務局の増井さんに加え、当組合池田事務局長の４名で構成され、本年10月末を目途に諮問すべく、検討に入った。

各協会事務局の３氏は、検定業務実務者としての永年の経験から、県内７地区協会独自の方式を調整し、画一的に県内統一が出来ることを期待している。

第１回業務検討分科会開催。

去る６月14日（水）静岡工業技術センター資料館会議室に於て、第１回分科会を開催した。主査に当組合池田事務局長を選任し、検討課題の整理及び課題決定、検討大日程につき協議した。

検討課題は次の通りである。

分科会委員太田、滝口、増井の３氏

１．検定試験諸費用統一について

◇試験場費（会場借用料）
◇実務補助費（補助費手当、昼食費等）
◇検定手数料（処理費、非組合員割増料、郵送料、登録料等）
◇受験種目別検定料金ブロック化
◇検定試験消耗品等負担の明確化

２．検定試験業務の効率化について

◇試験実施月のブロック化（別表）
◇検定料金、継続及び認定料金の電算機処理化

３．業務体制の整備

◇事務職員の補充強化
◇事務室の検討
◇電算機及びソフトの検討

別表　検定試験実施月のブロック化案

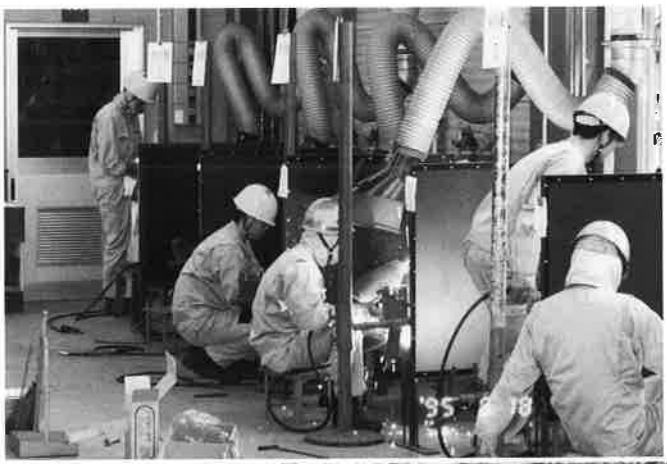
地区別	東部地区（沼津・中伊・富士）	中部地区（清水・静岡・志太榛原）	西部地区（浜松）
会　場	沼津技術専門校	ポリテクセンター静岡	浜松技能開発専門校
4　月		No.1 ★	
5　月	No.1 ★		
6　月			No.1 ★
7　月		No.2 ★	
8　月	No.2 ★		
9　月			No.2 ★
10　月		No.3 ★	
11　月	No.3 ★		
12　月			No.3 ★
1　月		No.4 ★	
2　月	No.4 ★		
3　月			No.4 ★

★　更新試験受験者は、前倒しで地区受験月に実施

★　新規受験者は、地区受験月に実施

★　継続試験手続きは、有効期限に合わせ前倒しで実施

以上は、原則として、受験者の居住地区で実施



⇐ 浜松地区検定試験
浜松技能開発専門校

試験材の仕上も入念に
沼津技術専門校
⇓

製造物責任（ＰＬ）法
7月1日より施行

中小企業に望まれるＰＬ対策

製造物責任（ＰＬ）法が、７月１日より施行されました。すでに法の公布から施行までの期間を利用して、各社でＰＬ対策を進めていると思いますが、昨今の急激な円高など厳しい経済情勢が続く中、特に中小企業における本制度への対応の遅れが懸念されており、いざ訴訟となった場合に、その対応への混乱が予想されます。

そこで、各企業におかれては、もう一度以下の観点などから、社内のＰＬ対策（総合安全対策）への取り組みについて御検討をお願いします。

(1) 製品安全対策を推進する全社的体制の構築

製品の安全性を重視する企業理念、経営方針を採用するなど、経営トップによる積極的な取り組み、推進が図られることが重要です。

(2) 製品事故の未然防止・再発防止対策

①製品の安全性の向上

製品の設計段階、製造段階において、社内体制の整備、外部機関の活用など安全性向上に積極的に取り組んでいくことが必要です。

②表示・取扱説明の充実

表示及び取扱説明書について、よりわかりやすいものとするため、過去の事故、消費者クレームや意見などを踏まえ、充実・強化を図っていくことが必要です。

③アフターケアの充実

商品の流通開始後も、相談窓口の設置や保証書の充実など、適切なアフターケアを行っていくことが必要です。

(3) 迅速・確実な被害救済対策

①紛争処理体制の整備

消費者クレーム等を処理するマニュアルの作成など紛争処理体制の整備を、各企業、各業態ごとに進めていくことが重要です。

②損害補填措置の充実

製造物責任保険、団体保険への加入等損害補填措置の充実の必要性について検討することが重要です。

中小企業における対応の支援

こうした中小企業の製品安全対策に関する講習会が、本年度県内の７商工会議所（浜松、袋井、掛川、静岡、富士、富士宮、沼津）、３商工会（御殿場、裾野、可美）及び静岡県中小企業情報センターにおいて開催される予定です。また、中小企業金融公庫や国民金融公庫においては、製品の安全性向上に資する機械や、検査機器の導入等に必要な資金を、低利で融資しております。さらに、中小企業事業団では、製品の安全性の確保に関する相談に対し、情報提供やアドバイスを行っております。

尚、ＰＬ法についての問い合わせは、上記支援機関のほか、静岡県商工労働部商工労働企画課、企画調整スタッフ（☎054-221-2805）まで御連絡下さい。

平成７年６月25日発、NO.51「有明ＣＩＬ」より。

池田修二氏（事務局長）

平成７年春　黄綬褒章受章

平成７年度春の国家褒章で静岡県溶接工業協同組合事務局長の池田修二さんが黄綬褒章に輝き、去る５月16日に伝達式が行われた。

この褒章は、各都道府県より推薦された候補者の中から自己の仕事に精励し、広く国民の模範として称えるにふさわしい人物に贈られるものである。

氏は、昭和28年（株）日立製作所空調システム事業部へ入社以来、小型冷凍機及び空調機の機械加工、製缶、溶接作業に従事し、旺盛な研究心、優れた技術をもってシェル形コンデンサ、全溶接型水冷却器、フィン形熱交換器等の作業基準を確立し、新しい加工技術の実用化及び効率化に多大な成果を修めた。

また、後進技能者の指導育成に情熱を注ぎ、常に職場の第１線において尽力された。

こうした永年にわたる努力、功績が認められ、昭和57年に静岡県優秀技能者県知事賞揚、昭和63年には「現代の名工」として我が国最高水準の技能者に贈られる「卓越技能章」を受賞され、今度の栄えある国家褒章受章となったものである。

（吉田通信員）

職員紹介

岡田純子です

よろしくお願い致します

平成７年４月３日付で、静岡県溶接工業協同組合事務職員として、岡田純子さんが、おじさん、おばさん職員の仲間入りをしました。

岡田さんは、昭和52年３月１日生まれの18才、３姉妹の真ん中。静岡市立商業高等学校を本年３月卒業、当組合に意気様々入職して来ました。在学中に英語検定２級、簿記実務、珠算実務、ワープロ検定各々２級、情報処理、商業経済検定各３級を取得しております。

又、部活動では吹奏楽部でクラリネットを担当、音楽鑑賞、楽器演奏が趣味とのこと。思いやりをもって人に接する心の優しいお嬢さん、‼頑張れ，純子‼・・・。皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

（組合事務局から見る静岡工業技術センター中庭）

溶光

路隅みの紫陽花が、梅雨のしずくに濡れ、今を盛りに七変色を楽しませてくれる。ふと我に返り、自然の生を感ずる一時。

「きずな」５号が、ようやくにして発刊することができた。

季節はすでに夏たけなわ、夜空一杯に広がる花火の色彩、音の壮大さを見上げながら、一日の勤労を癒す冷えた一杯のビールに、小さな幸せを感じ、明日への活力の源となって湧いてくる。

人、それぞれの感性で、それぞれの喜びを感ずるものであるが、いかがなものか・・・。

新たなる体制で編集委員決まる。

東部地区　三浦俊夫（サツマ工業㈱）
中部地区　今泉忠博（日立・ＳＥ㈱）
西部地区　中道　滋（㈱ユーテック）
　　池田修二（組合事務局）

発　行（非売品）
㈳日本溶接協会静岡県支部
静岡県溶接工業協同組合
理事長　梶　本　忠　恒
〒421-12　静岡市牧ヶ谷２０７８番地
静岡県静岡工業技術センター内
ＴＥＬ　054－278－1635
ＦＡＸ　054－278－1293